

問題1-1

- ① ()
- ② ()
- ③ ()
- ④ ()
- ⑤ ()

解答<3>ページ

問題1-2

- (1) []
- (2) []
- (3) []
- (4) []
- (5) []
- (6) []
- (7) []
- (8) []
- (9) []
- (10) []

解答<3>ページ

問題1-3

- ☐ 工場の運転資金として必要な銀行借入金に対する支払利息
- ☐ 工場の運動会において、授与する賞品の購入費用
- ☐ 製品にそのまま取り付ける部品の消費額
- ☐ 工場を建設する土地の購入代金
- ☐ 会社の役員に対して支払われる賞与金（引当金計上額）
- ☐ 本社備品の減価償却費
- ☐ 工員のための華道・茶道講師料
- ☐ 工場事務職員のパソコン研修費用
- ☐ 火災による製品の廃棄損
- ☐ 製品出荷運送費

解答(4)ページ

問題1-4

- (1) ☐
- (2) ☐
- (3) ☐
- (4) ☐
- (5) ☐
- (6) ☐
- (7) ☐
- (8) ☐
- (9) ☐
- (10) ☐

解答(4)ページ

問題2-1

(1) 勘定記入

(単位：円)

材 料		製 造 間 接 費	
前期繰越			
買 掛 金			
賃 金		仕 掛 品	
諸 口	未払賃金	前期繰越	
経 費		製 品	
諸 口		前期繰越	

(2) 製造原価明細書

製造原価明細書

(単位：円)

I 直接材料費	()
II 直接労務費	()
III 製造間接費	()
()	()
期首仕掛品棚卸高	()
合 計	()
期末仕掛品棚卸高	()
()	()

(3) 損益計算書

損 益 計 算 書		(単位：円)
I 売 上 高		()
II 売 上 原 価		
1. 期首製品棚卸高	()	
2. ()	()	
合 計	()	
3. 期末製品棚卸高	()	()
売上総利益		()

解答(5)ページ

問題2-2

(注) 仕掛品勘定の〔 〕内には相手勘定科目名または翌期繰越を記入しなさい。使用できる勘定科目名は、材料、賃金・手当、製造間接費、製品、売上原価、損益とする。なお、勘定は締め切ること。また損益計算書の〔 〕内には適語を、()内には金額を記入しなさい。

仕 掛 品		(単位：円)
前 期 繰 越	〔 〕	
〔 〕	〔 〕	
〔 〕		
〔 〕		

損 益 計 算 書		
××社	自×年×月×日 至×年×月×日	
I 売 上 高		()
II 売 上 原 価		
1. 期首製品棚卸高	()	
2.〔 〕	()	
合 計	()	
3. 期末製品棚卸高	()	
差 引	()	
4.〔 〕	()	()
売上総利益		()
III 販売費及び一般管理費		()
営 業 利 益		()
IV 営業外収益		()
V 営業外費用		()
経 常 利 益		()

解答(8)ページ

問題2-3

損 益 計 算 書

(単位：円)

自×3年4月1日 至×4年3月31日

I 売 上 高		()
II 売 上 原 価		
1. 期首製品棚卸高	()	
2. ()	()	
合 計	()	
3. 期末製品棚卸高	()	
差 引	()	
4. 原 価 差 額	()	()
売上総利益		()

製 造 原 価 明 細 書

(単位：円)

自×3年4月1日 至×4年3月31日

I 直 接 材 料 費		
1. 期首材料棚卸高	700	
2. 当期材料仕入高	20,300	
合 計	21,000	
3. 期末材料棚卸高	2,000	()
II 直 接 労 務 費		()
III 直 接 経 費		()
IV 製 造 間 接 費		
1. 材 料	()	
2. 賃 金 ・ 手 当	()	
3. 電 力 料	()	
4. 減 価 償 却 費	()	
5. 修 繕 費	()	
6. そ の 他	()	
合 計	()	
()	()	
製造間接費配賦額		()
当期総製造費用		()
()		()
合 計		()
()		()
()		()

問題3-1

(1) 製造指図書別原価計算表

製造指図書別原価計算表（6月）

（単位：円）

	No.105	No.201	No.202	No.203	合 計
月初仕掛品原価					
直接材料費					
直接労務費					
製造間接費					
合 計					
備 考					

(2) 諸勘定の記入

（単位：円）

仕 掛 品	
前 月 繰 越	製 品
材 料	次 月 繰 越
賃 金 ・ 手 当	
製 造 間 接 費	
製 品	
仕 掛 品	売 上 原 価
	次 月 繰 越

解答(13)ページ

問題3-2

製造指図書別原価計算表（8月）

（単位：円）

	No.201	No.202	No.203	合 計
月初仕掛品原価				
直接材料費				
直接労務費				
製造間接費				
合 計				
備 考				

（単位：円）

仕 掛 品	
前 月 繰 越	製 品
材 料	次 月 繰 越
賃 金 ・ 手 当	
製 造 間 接 費	
製 品	
前 月 繰 越	売 上 原 価
仕 掛 品	次 月 繰 越

解答(15)ページ

問題4-1

甲材料 円/kg
 乙材料 円/kg
 丙材料 円/kg

解答(17) ページ

問題4-2

〔設問 1〕

円

〔設問 2〕

円

解答(17) ページ

問題4-3

(単位：円)

材 料	
買 掛 金	仕 掛 品
材 料 副 費	次 月 繰 越
材 料 副 費	
諸 口	材 料
34,500	配 賦 差 異

解答(18) ページ

問題4-4

〔設問1〕

(単位：円)

材		料	
買 掛 金	1,000,000	仕 掛 品	
引 取 費 用		次 月 繰 越	
引 取 費 用			
諸 口	60,000	材 料	
内 部 材 料 副 費			
諸 口	49,200	仕 掛 品	
		次 月 繰 越	
		配 賦 差 異	

〔設問2〕

(単位：円)

材		料	
買 掛 金	1,000,000	仕 掛 品	
引 取 費 用		次 月 繰 越	
引 取 費 用			
諸 口	60,000	材 料	
内 部 材 料 副 費			
諸 口	49,200	製 造 間 接 費	

解答(19)ページ

問題4-5

材 料		(単位：円)
前 月 繰 越	[]	
[]	[]	
材料受入価格差異		
[]		

(注) [] には適切な相手勘定科目名を記入しなさい。

解答<21>ページ

問題4-6

(1) 諸勘定の記入

材 料		(単位：円)
前 月 繰 越	80,000	[]
[]		[]
材料受入価格差異		
[]		

(注) [] には適切な相手勘定科目名を記入しなさい。

(2) 製造指図書別原価計算表（一部）

製造指図書別原価計算表						
	No100	No101	No102	No103	No104	合 計
直接材料費（円）	()	()	()	()	()	()

解答<22>ページ

問題4-7

材 料		(単位：円)
前 月 繰 越	{ }	
{ }	{ }	
	{ }	
材料消費価格差異		
{ }		

(注) { } には適切な相手勘定科目名を記入しなさい。

解答(23)ページ

問題4-8

材 料		(単位：円)
前 月 繰 越 ()	仕 掛 品 ()	
買 掛 金 ()	製 造 間 接 費 ()	
現 金 ()	材料消費価格差異 ()	
	次 月 繰 越 ()	
()	()	
材料消費価格差異		
材 料 ()		

解答(24)ページ

問題4-9

〔設問 1〕

製造指図書別原価計算表						
	No.100	No.101	No.102	No.103	No.104	合 計
直接材料費（円）	()	()	()	()	()	()

〔設問 2〕

月末材料棚卸高 () 円
 材料消費価格差異 () 円〔 〕
 （注）〔 〕内は借方または貸方を記入すること。

解答<25>ページ

問題4-10

（単位：円）

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額

解答<27>ページ

問題4-11

材 料		（単位：円）	
前 月 繰 越	仕 掛 品		
買 掛 金	製 造 間 接 費		
	次 月 繰 越		

解答<27>ページ

問題5-1

(単位：円)

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				

賃 金 (単位：円)

諸 口	

解答<28>ページ

問題5-2

(注) 下記勘定の〔 〕内には適切な相手勘定科目名を、()内には金額(単位：円)を記入しなさい。なお不要なものには ―― を記入すること。

賃 金 ・ 手 当

諸 口 ()	〔 ()	〕 ()
〔 ()	〔 ()	〕 ()
	〔 ()	〕 ()
	〔 ()	〕 ()
		<u> ()</u>

賃 率 差 異

〔 ()	〕 ()	〔 ()	〕 ()
-------	-------	-------	-------

解答<29>ページ

問題5-3

〔設問 1〕

- (1) _____ 円
 (2) _____ 円
 (3) _____ 円 ()

〔設問 2〕

賃 金 (単位：円)	
諸 口	未 払 賃 金
未 払 賃 金	仕 掛 品
	製 造 間 接 費
	賃 率 差 異

解答(30)ページ

問題5-4

直接労務費：_____ 円

間接労務費：_____ 円

解答(31)ページ

問題5-5

(A) 製造指図書別製造原価要約表 (一部)

(単位：千円)

	No101	No102	No103	No104	No105	合 計
(省 略)						
直 接 労 務 費						
切 削 部						
組 立 部						
(省 略)						

(B) 賃金・手当勘定

(注) 下記勘定の〔 〕内には適切な相手勘定科目名を、()内には金額 (単位：千円) を記入しなさい。なお不要なものには ―― を記入すること。

賃 金 ・ 手 当	
諸 口	4,310
〔 〕 ()	未払賃金・手当 ()
〔 〕 ()	〔 〕 ()
〔 〕 ()	〔 〕 ()
〔 〕 ()	〔 〕 ()
〔 〕 ()	〔 〕 ()

解答(32)ページ

問題5-6

〔設問1〕 千円/時間

〔設問2〕

直接労務費 = 千円

間接労務費 = 千円

解答(34)ページ

問題6-1

事務用消耗品費：	円
旅 費 交 通 費：	円
保 管 料：	円
電 力 料：	円
ガ ス 代：	円
減 価 償 却 費：	円
修繕引当金繰入額：	円
保 険 料：	円
材料棚卸減耗費：	円
合 計	円

解答(36)ページ

問題6-2

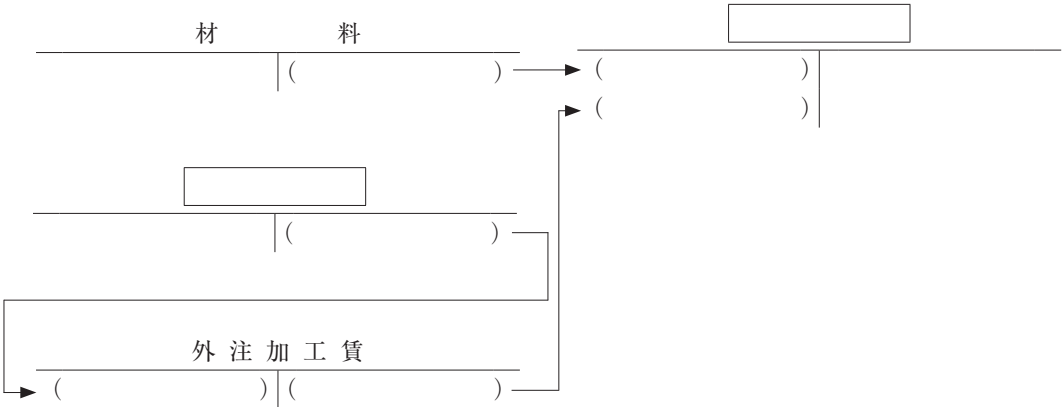
〈仕 訳〉 (単位：円)

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				

〈勘定記入〉

(注) には適切な勘定科目名を記入しなさい。また勘定は締め切る必要はなく，相手勘定科目を記入する必要もない。

(単位：円)



解答(37)ページ

問題6-3

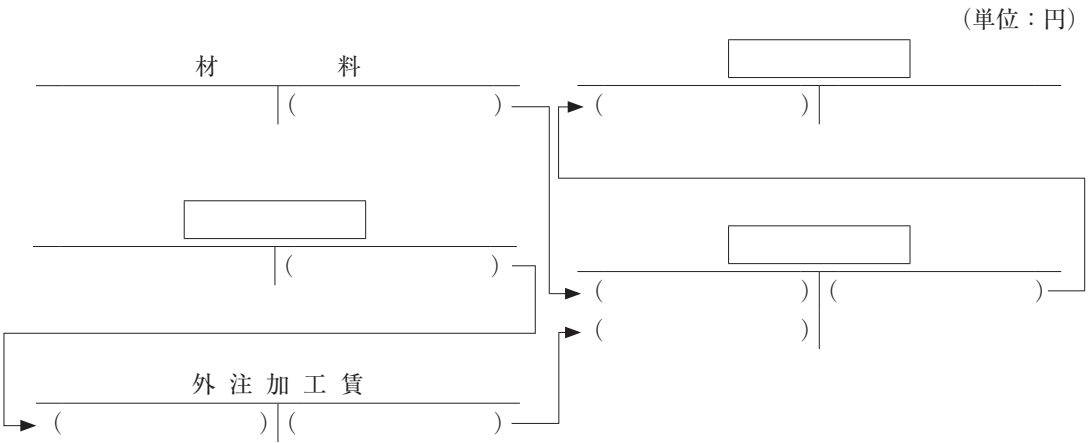
〈仕 訳〉

(単位：円)

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				

〈勘定記入〉

(注) には適切な勘定科目名を記入しなさい。また勘定は締め切る必要はなく，相手勘定科目を記入する必要もない。



問題6-4

〈仕 訳〉

(単位：円)

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1				
2				
3				
4				
5				

〈勘定記入〉

(注) には適切な勘定科目名を記入しなさい。また勘定は締め切る必要はなく，相手勘定科目を記入する必要もない。

(単位：円)

材 料

部 品

() ()

→ () ()

()

Z 社

→ () ()

当座 → ()

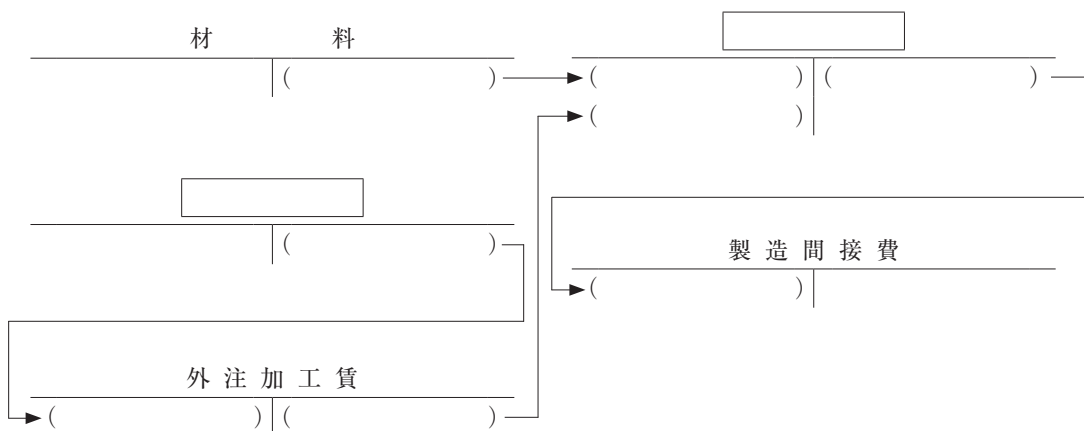
→ () () ←

問題6-5

(注) には適切な勘定科目名を記入しなさい。また勘定は締め切る必要はなく、相手勘定科目を記入する必要もない。

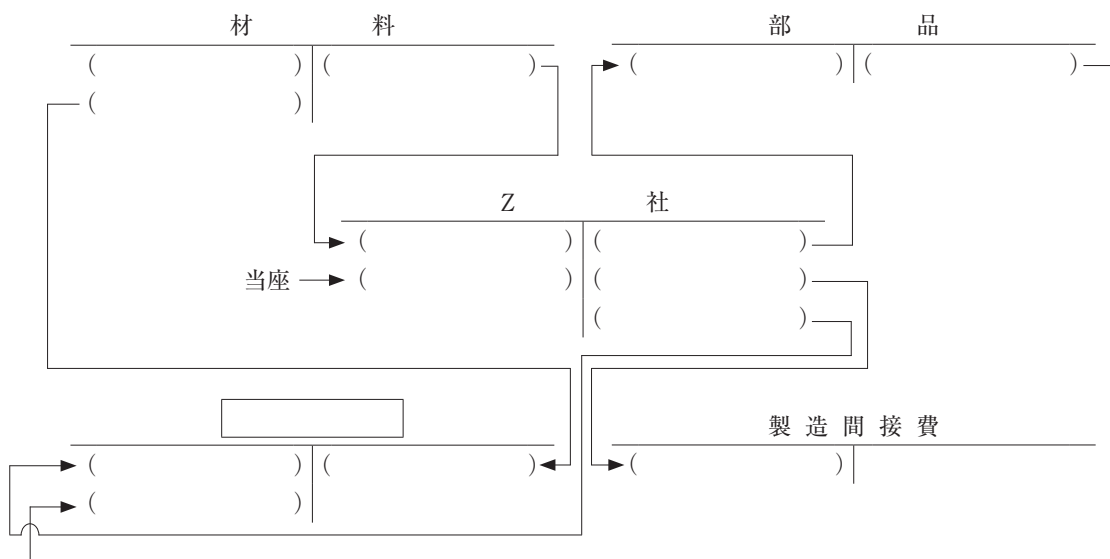
〔設問 1〕

(単位：円)



〔設問 2〕

(単位：円)



問題6-6

(注) 勘定は締め切る必要はなく、また日付や相手勘定を記入する必要もない。

(単位：円)

当座		甲社		部 品	
	()	()	()	()	()
		()	()	()	()
			()		
材 料		乙 社		<div></div>	
850, 000	420, 000	()	()	()	()
()	540, 000	()	()	()	
			()	()	
				()	
<div></div>					
()					
()					

解答(42)ページ

問題6-7

製造間接費

間接材料費	円
間接労務費	円
間 接 経 費	円
合 計	円

解答(43)ページ

問題7-1

実際配賦率： 円/時間

製造指図書別製造原価計算表

(単位：円)

	No.100	No.101	No.102	合 計
直接材料費				
直接労務費				
製造間接費				
合 計				

解答(45)ページ

問題7-2

〈仕 訳〉

(単位：円)

	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
(1)				
(2)				
(3)				

〈勘定記入〉

製 造 間 接 費

[] ()	[] ()
[] ()	[] ()
[] ()	
<u>()</u>	<u>()</u>

(注) 上記勘定の〔 〕内には適切な相手勘定科目名を, ()内には金額(単位:円)を記入しなさい。

解答(45)ページ

問題7-3

〔問1〕

- ① 時間
- ② 時間
- ③ 時間
- ④ 時間

〔問2〕

- ① 実際の生産能力基準
 予定配賦率 円/時間
- ② 期待実際操業度基準
 予定配賦率 円/時間

解答(46)ページ

問題7-4

(1) 予定配賦率 () 円/時間

(2) 勘定記入

製 造 間 接 費			
実 際 発 生 額 (<input type="text"/>)		予 定 配 賦 額 (<input type="text"/>)	
総 差 異 (<input type="text"/>)		総 差 異 (<input type="text"/>)	
	(<input type="text"/>)		(<input type="text"/>)
予 算 差 異		操 業 度 差 異	
(<input type="text"/>)	(<input type="text"/>)	(<input type="text"/>)	(<input type="text"/>)

(注) 上記勘定の () 内には金額 (単位: 円) を記入しなさい。なお, 差異の勘定は, 借方または貸方のいずれかに記入しなさい。不要な () には —— を記入すること。

解答(47)ページ

問題7-5

〔設問1〕

予定配賦率	_____	円/時間
予定配賦額	_____	円
配 賦 差 異		
変動費予算差異	_____	円〔 差異〕
固定費予算差異	_____	円〔 差異〕
操 業 度 差 異	_____	円〔 差異〕

〔設問2〕

予算差異のうち、変動費については , 固定費については の原因から発生したものと思われる。

解答(48)ページ

問題7-6

① 予定配賦率	_____	円/時間
② 予定配賦額	_____	円
③ 製造間接費配賦差異	_____	円〔 〕
④ 予 算 差 異	_____	円〔 〕
操業度差異	_____	円〔 〕

解答(49)ページ

問題7-7

① 予定配賦率	_____	円/時間
② 予定配賦額	_____	円
③ 製造間接費配賦差異	_____	円〔 〕
④ 予 算 差 異	_____	円〔 〕
操業度差異	_____	円〔 〕

解答(50)ページ

問題7-8

(A) 製造指図書別原価計算表

製造指図書別原価計算表					(単位：円)
	# 200	# 201	# 202	# 203	合 計
月初仕掛品原価					
直接材料費					
直接労務費					
製造間接費					
合 計					

(B) 原価計算関係諸勘定

(注) 下記勘定の () 内には金額(単位：円)を記入しなさい。差異の勘定は、借方または貸方のいずれかに記入すればよい。なお不要な () には —— を記入すること。

仕 掛 品	
前 月 繰 越 ()	製 品 ()
材 料 ()	翌 月 繰 越 ()
賃 金 ・ 手 当 ()	
製 造 間 接 費 ()	
()	()
製 造 間 接 費	
諸 口 1,548,720	予 定 配 賦 額 ()
材 料 ()	総 差 異 ()
賃 金 ・ 手 当 ()	
総 差 異 ()	
()	()
材料消費価格差異	賃 率 差 異
() ()	() ()
予 算 差 異	操 業 度 差 異
() ()	() ()

問題7-9

(A) 製造指図書別製造原価要約表 (20×0年10月)

製造指図書別製造原価要約表							(単位：千円)
	No.101	No.102	No.103	No.104	No.105	No.106	合 計
9 月 末 合 計	2,700	—	—	—	—	—	2,700
直 接 材 料 費							
直 接 労 務 費							
製 造 間 接 費							
合 計							

(B) 原価計算関係勘定

(注)〔 〕には相手勘定科目名または翌月繰越を、()内には金額(単位：千円)を記入し、各勘定を締め切りなさい。使用できる勘定科目名は、買掛金、材料、賃金・手当、製造間接費および製品とする。

仕 掛 品	
前 月 繰 越	2,700
〔 〕 ()	〔 〕 ()
〔 〕 ()	〔 〕 ()
〔 〕 ()	〔 〕 ()
()	()

材料受入価格差異	
前 月 繰 越	60
〔 〕 ()	〔 〕 ()
()	()

賃 率 差 異	
〔 〕 ()	前 月 繰 越 30
〔 〕 ()	〔 〕 ()
()	()

製造間接費配賦差異	
前 月 繰 越	20
〔 〕 ()	〔 〕 ()
()	()

問題7-10

(注) 下記の2勘定の〔 〕内には相手勘定科目名を、()内には金額を記入しなさい。また
損益計算書の〔 〕内には適当な名称を、()内には金額を記入しなさい。

(単位：万円)

製造間接費

間接材料費 ()	〔 () 〕 ()
間接労務費 ()	〔 () 〕 ()
間接経費 ()	/
()	
	()

仕掛品

期首有高 ()	〔 () 〕 ()
直接材料費 ()	〔 () 〕 ()
直接労務費 ()	期末有高 ()
直接経費 ()	/
製造間接費 ()	
()	()

損益計算書

売上高		9,800
売上原価	()	
〔 () 〕	()	
売上原価計	()	()
売上総利益		()
販売費	()	
一般管理費	()	
販売費・一般管理費計	()	()
営業利益		()
営業外収益		()
営業外費用		()
経常利益		()
特別利益		()
特別損失		()
税引前当期純利益		()

解答(57)ページ

問題7-11

(注) 下記の2勘定の〔 〕内には相手勘定科目名を、()内には金額を記入しなさい。また損益計算書の〔 〕内には適当な名称を、()内には金額を記入しなさい。

製 造 間 接 費		(単位：万円)
間 接 材 料 費 ()	〔 () 〕 ()	
間 接 労 務 費 ()	〔 () 〕 ()	
間 接 経 費 ()		
()		()

仕 掛 品		(単位：万円)
期 首 有 高 ()	〔 () 〕 ()	
直 接 材 料 費 ()	期 末 有 高 ()	
直 接 労 務 費 ()		
直 接 経 費 ()		
〔 () 〕 ()		
()		()

損 益 計 算 書		(単位：万円)
売 上 高		12,400
売 上 原 価 ()		
〔 () 〕	()	
売 上 原 価 計	()	()
売 上 総 利 益		()
販 売 費 ()		
一 般 管 理 費 ()		
販売費・一般管理費計	()	()
営 業 利 益		()
営 業 外 収 益		()
営 業 外 費 用		()
経 常 利 益		()

解答(60)ページ

問題8-1

(単位：円)

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				

解答(65)ページ

問題8-2

部門費配賦表

(単位：円)

摘 要	配賦基準	合 計	製 造 部 門		補 助 部 門		
			甲 部 門	乙 部 門	動力部門	修繕部門	事務部門
部門個別費							
間接材料費							
間接労務費							
部門共通費							
間接労務費	従 業 員 数						
建物減価償却費	床 面 積						
電 力 料	電力消費量						
部 門 費							

解答(66)ページ

問題8-3

部 門 費 配 賦 表

(単位：円)

摘 要	合 計	製 造 部 門		補 助 部 門		
		切削部	組立部	動力部	修繕部	事務部
部 門 費	4,300,000	1,210,000	1,140,000	900,000	600,000	450,000
動力部費						
修繕部費						
事務部費						
製造部門費						

切 削 部

(単位：円)

製 造 間 接 費	1,210,000	
動 力 部		
修 繕 部		
事 務 部		

組 立 部

(単位：円)

製 造 間 接 費	1,140,000	
動 力 部		
修 繕 部		
事 務 部		

動 力 部

(単位：円)

製 造 間 接 費	900,000	切 削 部	
		組 立 部	

修 繕 部

(単位：円)

製 造 間 接 費	600,000	切 削 部	
		組 立 部	

事 務 部

(単位：円)

製 造 間 接 費	450,000	切 削 部	
		組 立 部	

問題8-4

部 門 費 配 賦 表

(単位：円)

摘 要	合 計	製 造 部 門		補 助 部 門		
		機械部	組立部	材料部	保全部	事務部
部 門 費	2,800,000	600,000	800,000	600,000	500,000	300,000
第 1 次 配 賦						
材 料 部 費						
保 全 部 費						
事 務 部 費						
第 2 次 配 賦						
材 料 部 費						
保 全 部 費						
製 造 部 門 費						

解答(68)ページ

問題8-5

部 門 費 配 賦 表

(単位：円)

摘 要	合 計	製 造 部 門		補 助 部 門		
		切削部門	組立部門	動力部門	修繕部門	事務部門
部門個別費						
部門共通費						
部門費計						
動力部門費						
修繕部門費						
事務部門費						
製造部門費						

製造間接費—切削部門

(単位：円)

部門個別費	
部門共通費	
動力部門費配賦額	
修繕部門費配賦額	
事務部門費配賦額	

製造間接費—組立部門

(単位：円)

部門個別費	
部門共通費	
動力部門費配賦額	
修繕部門費配賦額	
事務部門費配賦額	

問題8-6

〔問1〕

(単位：円)

	甲製造部	乙製造部	X補助部門	Y補助部門
部門費	21,000,000	17,600,000	9,000,000	8,500,000
X補助部門費				
Y補助部門費				
製造部門費				

製造部門に配賦されるY補助部門費の単価 = () 円

〔問2〕

(1) 自家消費を考慮する場合

(単位：円)

	甲製造部	乙製造部	X補助部門	Y補助部門
部門費	21,000,000	17,600,000	9,000,000	8,500,000
X補助部門費			1,266,667	
Y補助部門費			2,400,000	
	—	—	(12,666,667)	()
製造部門費			0	0

製造部門に配賦されるY補助部門費の単価 = () 円

(2) 自家消費を無視する場合

(単位：円)

	甲製造部	乙製造部	X補助部門	Y補助部門
部門費	21,000,000	17,600,000	9,000,000	8,500,000
X補助部門費			—	
Y補助部門費				—
	—	—	()	()
製造部門費			0	0

製造部門に配賦されるY補助部門費の単価 = () 円

解答<72>ページ

MEMO

.....

問題8-7

部 門 費 配 賦 表

(単位：円)

摘 要	合 計	製 造 部 門		補 助 部 門		
		第 1 製造部	第 2 製造部			
部門個別費						
部門共通費						
部門費						
製造部門費						

第 1 製 造 部

(単位：円)

製 造 間 接 費	
工 場 事 務 部	
動 力 部	
修 繕 部	

第 2 製 造 部

(単位：円)

製 造 間 接 費	
工 場 事 務 部	
動 力 部	
修 繕 部	

修 繕 部

(単位：円)

製 造 間 接 費	第 1 製 造 部
工 場 事 務 部	第 2 製 造 部
動 力 部	

動 力 部

(単位：円)

製 造 間 接 費	第 1 製 造 部
工 場 事 務 部	第 2 製 造 部
	修 繕 部

工 場 事 務 部				(単位：円)
製 造 間 接 費	第 1	製 造 部		
	第 2	製 造 部		
	修 繕	部		
	動 力	部		

解答<77>ページ

問題8-8

(A) 製造指図書別製造原価要約表 (20×0年10月)

(単位：千円)

	# 100	# 101	# 102	# 103	# 104	# 105	# 106	合 計
9 月末合計	500	210	—	—	—	—	—	710
直接材料費								
直接労務費								
切削部								
組立部								
製造間接費								
切削部								
組立部								
合 計								

(B) 原価計算関係勘定

(注)〔 〕内には相手勘定科目名または翌月繰越を、()内には金額(単位:千円)を記入し、各勘定を締め切りなさい。使用できる相手勘定科目は、材料、賃金・手当、製造間接費一切削部、製造間接費一組立部、仕掛品、製品および原価差異とする。また配賦差異を予算差異と操業度差異に分析し、『 』内に借方または貸方を記入しなさい。

仕 掛 品	
前 月 繰 越	710 ()
() ()	()
() ()	
() ()	
() ()	
() ()	
() ()	

賃 率 差 異	
前 月 繰 越	40 ()
()	()
()	()

製造間接費一切削部			
諸	勘	定	()
			()
			()
			()
			()

問題9-1

〔設問1〕

切削部に対する実際配賦額 = 円

組立部に対する実際配賦額 = 円

〔設問2〕

切削部に対する実際配賦額 = 円

組立部に対する実際配賦額 = 円

〔設問3〕

動力部		(単位：円)
実 際 発 生 額	予 定 配 賦 額	
変 動 費 304,000	切 削 部 ()	
固 定 費 336,000	組 立 部 ()	
	総 差 異 ()	
		()
640,000		

動力部の差異分析

総 差 異 = 円 []

内訳：変動費予算差異 = 円 []

固定費予算差異 = 円 []

操 業 度 差 異 = 円 []

(注) 内には計算した差異の金額を, [] 内には借方または貸方を記入すること。

〔設問4〕

動力部		(単位：円)
実 際 発 生 額	予 算 許 容 額	
変 動 費 304,000	切 削 部 ()	
固 定 費 336,000	組 立 部 ()	
	総 差 異 ()	
		()
640,000		

動力部の差異分析

総 差 異 = 円 []

内訳：変動費予算差異 = 円 []

固定費予算差異 = 円 []

操 業 度 差 異 = 円 []

(注) 内には計算した差異の金額を, [] 内には借方または貸方を記入すること。また, 不要な欄には「—」を記入すること。

問題9-2

〔問1〕

10月の動力部費の1kwhあたり実際配賦率= 円

切削部に対する実際配賦額= 円

〔問2〕

(注) 計算した結果を下記の 内に記入しなさい。ただし、差異勘定への記入は、借方または貸方のどちらかに記入すること。

動 力 部		(単位：円)
変 動 費 実 際 発 生 額	2, 210, 000	切削部への予定配賦額 <input type="text"/>
固 定 費 実 際 発 生 額	2, 470, 000	組立部への予定配賦額 <input type="text"/>
		総 差 異 <input type="text"/>
	4, 680, 000	4, 680, 000

動力部予算差異

<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------

動力部操業度差異

<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------

〔問3〕

(a)= (b)= (c)=

組立部に対する動力部費配賦額：変動費配賦額= 円

固定費配賦額= 円

配賦額合計 = 円

解答(87)ページ

問題9-3

〔問1〕 階梯式配賦法と複数基準配賦法による補助部門費の配賦結果（固定費と変動費の合計額）

(1) 加工部の実際部門費合計 = 万円

(2) 組立部の実際部門費合計 = 万円

〔問2〕 連立方程式の相互配賦法と複数基準配賦法による補助部門費の配賦結果（固定費と変動費の合計額）

(1) 相互に配賦し終えた最終の補助部門費

動力部費 = 万円

技術部費 = 万円

(2) 実際部門費配賦表

（単位：万円）

費 目	合計	製 造 部 門						補 助 部 門								
		加 工 部			組 立 部			技 術 部			動 力 部			管 理 部		
		F	V	合計	F	V	合計	F	V	合計	F	V	合計	F	V	合計
部門費合計	32,390	5,500	5,000	10,500	6,500	6,000	12,500	3,500	2,700	6,200	1,550	1,140	2,690	500	—	500
管理部 F																
動力部 F																
V																
技術部 F																
V																
製造部門費	32,390															

（注）Fは固定費，Vは変動費を意味する。

〔問3〕 ① =

② =

③ =

④ =

問題9-4

〔設問 1〕

(ア) _____ 差異 (イ) _____ 差異

〔設問 2〕

(1) 予定配賦率： _____ 円/MH, 予定配賦額： _____ 円

(2)

	切 削 部 門	動 力 部 門
変動費予算差異	円	円
固定費予算差異	円	円
操 業 度 差 異	円	円

〔設問 3〕

(1) 予定配賦率： _____ 円/MH, 予定配賦額： _____ 円

(2)

	切 削 部 門	動 力 部 門
変動費予算差異	円	円
固定費予算差異	円	円
操 業 度 差 異	円	円

〔設問 4〕

(1) 予定配賦率： _____ 円/MH, 予定配賦額： _____ 円

(2)

	切 削 部 門	動 力 部 門
変動費予算差異	円	円
固定費予算差異	円	円
操 業 度 差 異	円	円

解答<93>ページ


問題9-5

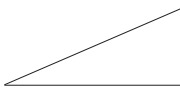
〔問1〕

切削部の予定配賦率 = () 円/時

仕上部の予定配賦率 = () 円/時

〔問2〕

製造間接費一切削部				(単位：万円)		
固	定	費	5,000	予	定	配 賦 額
変	動	費	4,100	総	差	異
事務部費配賦額						
電力部費配賦額						

製造間接費一仕上部				(単位：万円)		
固	定	費	5,080	予	定	配 賦 額
変	動	費	3,400	総	差	異
事務部費配賦額						
電力部費配賦額						

仕掛品一製造間接費		(単位：万円)	
製造間接費一切削部		完	成 品 原 価
製造間接費一仕上部		月	末 仕 掛 品 原 価

〔問3〕「製造間接費一切削部」勘定の総差異の分析

総 差 異 = () 万円 []

内訳：予 算 差 異 = () 万円 []

操業度差異 = () 万円 []

(注) () の中には差異の金額を, [] の中には借方または貸方の文字を記入しなさい。

解答(100)ページ

MEMO

.....

問題9-6

〔問1〕

当年度月次予算部門別配賦表

(単位：万円)

費 目	合計	製 造 部 門						補 助 部 門								
		機 械 部			組 立 部											
		V	F	合計	V	F	合計	V	F	合計	V	F	合計	V	F	合計
部門費合計	42,400	8,848	10,320	19,168	5,052	12,830	17,882									
製造部門費	42,400															

(注) Vは変動費, Fは固定費を意味する。

〔問2〕下記の()内に金額を記入しなさい。

動力部月次変動予算許容額 = 変動費率 () 円/kwh × 動力実際供給量
+ 固定費 () 円

〔問3〕当月の原価計算関係諸勘定(単位：万円)

(注1) ()内に金額を記入しなさい。

(注2) (自)は自部門費, (事), (保), (動)は各補助部門からの配賦額を意味する。

事 務 部			
F	500	F	500
保 全 部			
(自) V	()	V	()
F	()	F	()
(事) F	()	総差異	()
	()		()

機 械 部			
(自) V	()		
F	()		
(事) F	()		
(保) V	()		
F	()		
(動) V	()		
F	()		
	()		

動 力 部		組 立 部	
(自) V ()	V ()	(自) V ()	
F ()	F ()	F ()	
(事) F ()	総差異 ()	(事) F ()	
(保) V ()	/	(保) V ()	
F ()		F ()	
()		(動) V ()	
		F ()	
		()	

〔問 4〕 動力部費差異分析

(注) 下記の () 内には金額を, [] 内には借方または貸方を, 『 』 には差異の名称を記入しなさい。

総差異 = () 万円 []
 = 変動費 『 』 差異 () 万円 []
 + 固定費 『 』 差異 () 万円 []

解答(103)ページ

問題10-1

〔設問1〕

仕 掛 品				(単位：円)
前 月 繰 越		製 品		
直 接 材 料 費		仕 損 品		
直 接 労 務 費		次 月 繰 越		
製 造 間 接 費				

〔設問2〕

仕 掛 品				(単位：円)
前 月 繰 越		製 品		
直 接 材 料 費		仕 損 品		
直 接 労 務 費		仕 損 費		
製 造 間 接 費		次 月 繰 越		
仕 損 費				

解答<107>ページ

問題10-2

仕 掛 品				(単位：円)
前 月 繰 越		製 品		
直 接 材 料 費		仕 損 品		
直 接 労 務 費		組 立 部 費		
切 削 部 費		損 益		
組 立 部 費		次 月 繰 越		

解答<109>ページ

問題10-3

(A) 製造指図書別原価計算表

(単位：円)

項 目	#10	#11	#12	#13	#14	#15	合 計
前 月 繰 越	44,200	—	—	—	—	—	44,200
直接材料費							
直接労務費							
製造間接費							
小 計							
作業屑評価額							
正常仕損費							
異常仕損費							
合 計							
備 考							

(B) 原価計算関係諸勘定

(単位：円)

材 料		賃 金 ・ 手 当	
前 月 繰 越	24,000	諸 口	仕 掛 品
現 金			製造間接費
買 掛 金			
製 造 間 接 費		仕 掛 品	
未 払 金		前 月 繰 越	44,200
材 料		材 料	製 品
賃金・手当		賃金・手当	作 業 屑
		製造間接費	損 益
			次 月 繰 越

解答(110)ページ

問題10-4

(1) 指図書別原価計算表 (単位：円)

	No.101	No.102	No.103	No.104	No.105	No.106
前月繰越						
直接材料費						
直接労務費						
甲製造部門						
乙製造部門						
製造間接費						
甲製造部門						
乙製造部門						
小計						
仕損品評価額						
仕損費						
合計						
備考						

(2) 原価計算関係諸勘定 (単位：円)

製造間接費—甲製造部門			
諸	口	3,400,000	仕掛品 ()
			配賦差異 ()
		3,400,000	()

製造間接費—乙製造部門			
諸	口	2,300,000	仕掛品 ()
仕掛品		()	配賦差異 ()
		()	()

仕掛品			
前月繰越	()	製品	()
材料	()	仕損品	()
賃金・手当	()	製造間接費—乙製造部門	()
製造間接費—甲製造部門	()	損益	()
製造間接費—乙製造部門	()	次月繰越	()
	()		()

(3) 製造間接費—乙製造部門の差異分析

予算差異 () 円 (借・貸)

操業度差異 () 円 (借・貸)

総差異 () 円 (借・貸)

(注) (借・貸) は該当する方を○で囲むこと。

問題10-5

〔問1〕

指図書別原価計算表

(単位：円)

	#10	#10-1	#20	#20-1	#30	#30-1	計
直接材料費	120,000	140,000	200,000	—	470,000	60,000	990,000
直接労務費							
製造間接費							
合 計							
仕損品評価額							
仕 損 費							
製 造 原 価							
備 考							

(注) マイナスの数値には金額の前に△を付すこと。

〔問2〕

操業度差異 =

円 ()

(注) () 内には、有利もしくは不利を明示すること。

〔問3〕

仕 掛 品

(単位：円)

直接材料費	()	製 品	()
直接労務費	()	仕 損 品	()
製造間接費	()	異 常 仕 損 費	()
		次 月 繰 越	()
	()		()

解答(116)ページ

問題10-6

〔問1〕（単位：円）

材 料		仕 掛 品		正常仕損費＝
1,200,000	()	()	()	() 円
()		300,000	()	
		1,400,000		
製造間接費		製 品		
()	1,400,000	()	()	

〔問2〕（単位：円）

材 料		仕 掛 品		正常仕損費＝
1,200,000	370,000	370,000	()	() 円
()		280,000	()	
		()		
製造間接費		製 品		
()	()	()	()	

（注）必ずしもすべての（ ）内に金額を記入する必要はない。問題文に明示された条件に適切な記入を行うこと。

解答(120)ページ